

令和4年度
総合福祉施設 京都桂川園 事業報告書

1. 事業総括

令和4年度は、「一人ひとりが考えて行動できる組織づくり」を基本方針に掲げて職員の行動規範ともなる就業規則・諸規定の改定や業務マニュアルの見直しを行った。個々の職員が理解し行動できるためのシミュレーション研修などは不十分であったが、事故苦情の発生事例に基づいた「リスクマネジメント研修」は回数も重ねて取り組めた。

事業運営については、新型コロナ感染対策追われるとともに第7波や8波による休業や利用控えは厳しい実績低下となった。特に短期入所、通所部門に大きな影響を受けた。障害部門の入所事業は安定した運営ができたが、入所者の高齢化・重度化による入院者の増加傾向にあり今後の課題となる。高齢部門の入所・短期事業は稼働目標を達成したが、人件費を主とするコスト改善が急務となった。

また、組織力向上を主眼においた昇格人事や職員育成・定着を目指した育成部門の設置を進め、令和5年度から試行実施する「人事考課制度」を先行する京都厚生園から学び準備を行った。

京都市との関係においては、京都市指定管理事業所の申請更新完了、高齢全部門は市の運営指導を受け特筆すべき指導なく終了することができた。人材の確保・定着を促進することが重要課題である。

2. 重点実施項目

① 安定且つ持続可能な施設運営

- ・就業規則の大幅な改定を実施（10月1日）し、京都厚生園との一元化を完了した。
- ・高齢部門入所、短期入所は安定的な実績を確保できたが、厳しい経営状況が続いている。
- ・障害部門は、ケアの質の向上と体制加算の取得を目指して職員の増員を図ったが不十分に終わった。
- ・久世センターはコロナ感染症の影響を受けながらも、安定した経営状況を維持できた。
- ・BCP（自然災害・感染対策）着手、令和5年度中完成を目指す。

② withコロナへの予防対策強化と業務継続の実現

- ・年間通し面会条件や外出制限を検討、園内の感染対策を最大限に講じて感染拡大防止に努めた。
- ・具体的且つ継続的な感染対策を講じることで、休業期間等を最小限に留めるよう努めた。
- ・発生時の状況把握、判断の標準化、法人内施設でのコロナ対応に関する経験を共有、効果的に活用促進をした。

③ 職員育成の強化

- ・人材確保・育成部門を設置したが、令和4年度中も実質的な活動は十分に行えなかった。
- ・職種毎の育成担当を任命し、次年度の活動体制を準備する。
- ・人事考課を導入準備として法人内施設と連携し、部署長が事務センターによる研修を受講するなどして理解を高めた。

④ 法人内介護施設及び高齢事務センターとの協同

- ・法人介護4施設長会を定期開催。共通課題に対し情報共有、協議を進めることで運営の効率化を図った。
- ・法人介護4施設で主たる規程類を共通整備した。
- ・京都厚生園と現場役職レベルでの情報交換、協議の場の定期開催を開始した。
- ・法人中長期計画策定メンバーを決定した。

⑤ 地域包括支援

- ・ホームページのリニューアルが完了した。今後、社会、地域への情報発信ツールとして効果的に活用する。
- ・BCP（自然災害・感染症）策定における地域住民への参画を促進する。
- ・地域ケア会議等は今年度もオンライン形式での活動が主流であったが、次年度は、コロナ対策を十分に講じた上で包括システムの再開を目指す。

3. 実績報告

| 事業名 | 定員 | 年間利用者数 | 稼働率 |
|--------------------------------|-----|---------|-------|
| ① 京都市桂川特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） | 50名 | 17,721名 | 97.1% |
| ② 京都市桂川老人デイサービスセンター（通所介護） | 25名 | 5,262名 | 67.9% |
| ③ 京都市桂川療護園（障害者支援施設） | 40名 | 14,283名 | 97.8% |
| ④ 京都市桂川障害者デイサービスセンター（生活介護） | 20名 | 4,634名 | 89.5% |
| ⑤ 久世障害デイサービスセンター・ショートステイ（生活介護） | 20名 | 4,822名 | 93.1% |

※その他実施事業

京都市桂川特別養護老人ホーム（老人短期入所生活介護）、桂川居宅介護支援事業所（居宅介護支援）、京都市桂川地域包括支援センター（地域包括支援センター予防/委託）、京都市桂川療護園（障害者短期入所）、久世障害デイサービスセンター・ショートステイ（障害者短期入所）、久世障害相談支援事業所（障害者相談支援）

4. 職員数

| 常勤職員 | 非常勤職員 | 派遣職員 | 合計 |
|------|-------|------|------|
| 77名 | 39名 | 24名 | 140名 |

5. 施設整備等（設備投資）

| |
|-------------------------------------|
| ① 介護用ベッド9台（特別養護老人ホーム、老人デイ、療護園、障害デイ） |
| ② 業務用衣類乾燥機1台（特別養護老人ホーム） |
| ③ パソコン機器6台（老人デイ、障害デイ、久世デイ、包括支援センター） |
| ④ パーテーション（障害デイ） |